

「自分らしく輝いて生きる」という想いを込めた、男女共同参画推進のための情報誌

らいぶ



ともに挑戦!

2026年2月
山口市

CONTENTS

特集記事

女性や若者にとって
魅力的な地域であるために



女性や若者にとって魅力的な地域であるために

内閣府 地域における女性活躍・男女共同参画に関する調査結果より

急速に進行する少子高齢化や人口減少の中で、東京一極集中や、地元における生産年齢人口の減少等象に、インターネット・モニターに対するアンケートとして行われ、その結果につきては、内閣府男女

の課題に対応するため、女性や若者にとって魅力的な地域づくりを推進していくことが、今求められています。

一方で、近年若い女性が地方から都市へと転出する傾向が強まっています。

地方は、女性が働くうえで仕事の選択肢が少ないこと、都市に比

べて労働条件が良くないこと、固定的な性別役割分担意識や性差・

年齢に対する思い込みが根強く残っているため閉塞感を持ちやすいうことなどが、その主な原因と言われています。

若い世代が定住したくなる環境を実現することが、地域の活力を高めていくためには必要不可欠で

す。こうした問題意識のもと、内閣府により「令和6年度 地域における女性活躍・男女共同参画に関する調査」を行つてしまふ。

る調査】が行われました

| 現住地と定義される | 現住地と定義されない |
|-----------|------------|
| 63.3 | 43.7 |

(いて算出)

A line chart comparing the percentage of women from local backgrounds in the total population across four regions. The Y-axis represents the percentage, ranging from 0 to 70. The X-axis lists the regions: '女性／地方出身・地元在住' (Women from local background/living in hometown), '東北' (Tohoku), '関東' (Kanto), '中部' (Chubu), and '近畿・中国・四国' (Kinki-Chugoku-Shikoku). The legend indicates that the orange line represents the first category and the purple line represents the second.

| Category | 東北 | 関東 | 中部 | 近畿・中国・四国 |
|--------------|-----|------|------|----------|
| 女性／地方出身・地元在住 | 5.5 | 71.8 | 51.3 | 1.6 |

| 居住 | 訪問 |
|------|------|
| 67.0 | 65.0 |
| 52.8 | 55.0 |

A line chart comparing the percentage of respondents who feel they belong in Tokyo between men and women. The Y-axis represents the percentage from 0 to 100. The X-axis shows two categories: '性／地方出身・都会' (Gender/Local origin - City) and '性／東京在住' (Gender/Tokyo residence). Women (purple line) consistently show higher percentages than men (orange line) across both categories.

| 性／地方出身・都会 | 性／東京在住 | 性別 |
|-----------|--------|----|
| 8.9 | 74.0 | 女性 |
| 52.1 | 56.2 | 男性 |

A line chart comparing satisfaction levels between men and women across three urban areas: Tokyo, Osaka, and Nagoya. The Y-axis represents the satisfaction level, ranging from 45.6 to 71.0. The legend indicates that purple dots represent women and orange dots represent men.

| Area | Men (Orange) | Women (Purple) |
|------|--------------|----------------|
| 東京 | 45.6 | 81.0 |
| 大阪 | 51.0 | 71.0 |
| 名古屋 | 53.0 | 68.0 |

| Age Group | AI (%) | Smartphone (%) | Robot (%) |
|-----------|--------|----------------|-----------|
| 18-29 | 65.1 | 82.5 | 65.1 |
| 30-39 | 43.4 | 39.8 | 39.8 |

※※
1
3
4
0%

山口市男女共同参画センタ
ゆめぱらでは、性別や世代
関わらず、誰もが活躍する地

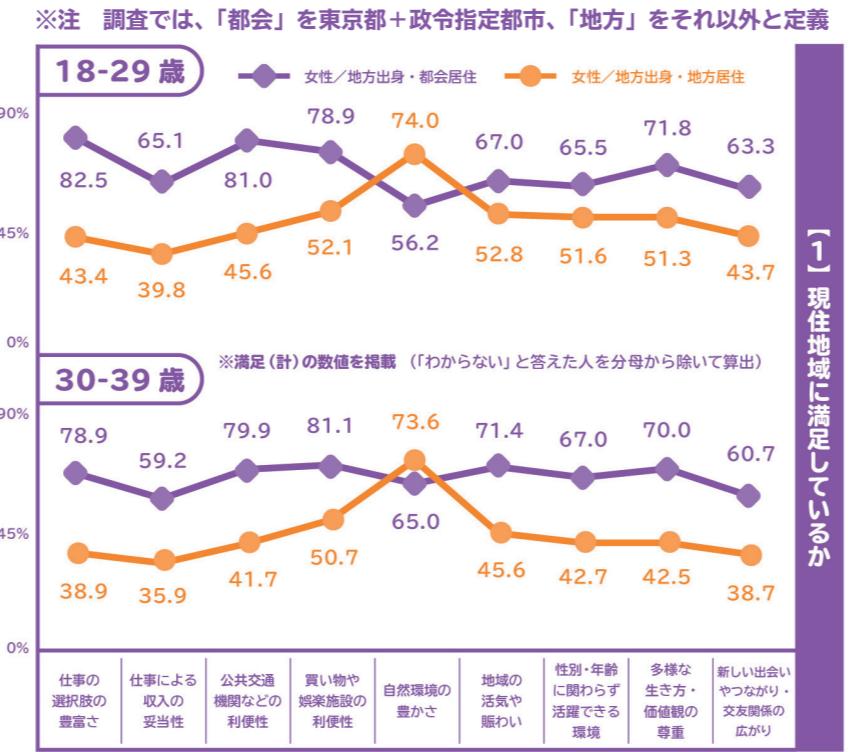
づくりについて理解を深めてただくため、県民活動団体「やぐちネットワークエコー」と

共催により、「地域における女性（とも）に活躍推進セミナー」を令和5年度より開催していく。三月一日二日開催、三

す。昨年11月8日には開催した和7年度のセミナーでは、山大学で地域政策を学ぶ学生をはじめ、幅広い世代の参加者約

名が、多様な生き方や価値観を持つ住民の暮らしを包み支えための地域づくりについて、状と課題を学び、ともに考えた。

女性や若者の声を地域に！ともに活躍推進セミナーを開催



調査では、若い世代が今住んでいる地域に満足しているかについて、男女別・出身地域別に結果が公表されていますが、全体的に地方出身・都会居住の女性で満足度が高い傾向があります。地方出身で、都會に居住している女性と地方に居住している女性を比較すると、特に「仕事の選択肢の豊富さ」「公共交通機関などの利便性」は、満足している人の割合の差が大きくなっています。

また、18～29歳の結果と比べ、30～39歳で差が大きい項目は、「多様な生き方・価値観の尊重」、「性別・年齢に関わらず活躍できる

象に、インターネット・モニターに対するアンケートとして行われ、その結果については、内閣府男女共同参画局ホームページ (<https://www.gender.go.jp/>) に詳細な報告書が掲載されています。今回、その一部を抜粋してご紹介します。

出身地域を離れた理由

図2 次に、自らの意思によつて出身地域を離れた場合の理由について見ると、女性も男性も、全ての区分で「希望する進学先が少ない」が最も多く、特に「都会へ転居」した女性でその割合が高くなっています。

また、男女とも、希望する進学先や就職先の不足が、出身地域を離れる大きな理由となつている中で、女性は「都会へ転居」「地方へ転居」とともに、「地元から離れたかったから」という理由が上位にかかつたから」という理由が上位に入っています。

| 都会へ転居 | | 地方へ転居 |
|-----------|------------------------|------------------------|
| 女性 | | |
| 1位 | 希望する進学先が少なかった…35.0% | 希望する進学先が少なかった…23.8% |
| 2位 | やりたい仕事や就職先が少なかった…22.6% | 地元から離れたかった…15.7% |
| 3位 | 地元から離れたかった…20.7% | 学校や職場に通いづらかった…14.3% |
| 男性 | | |
| 1位 | 希望する進学先が少なかった…29.2% | 希望する進学先が少なかった…24.6% |
| 2位 | やりたい仕事や就職先が少なかった…21.9% | 学校や職場に通いづらかった…16.8% |
| 3位 | 学校や職場に通いづらかった…16.1% | やりたい仕事や就職先が少なかった…14.0% |

地方出身の女性が高くなつております。都会出身の女性に比べ、それらを目の当たりにする機会が多かつたことが分かります。

調査結果が示すこと

調査結果からは、進学や就職が若い世代が出身地域を離れる大きなきっかけとなる中で、特に女性は、性別役割分担意識や、伝統的な価値観が残る地元に生きづらさを感じて、都会へと転出している傾向をうかがうことができます。

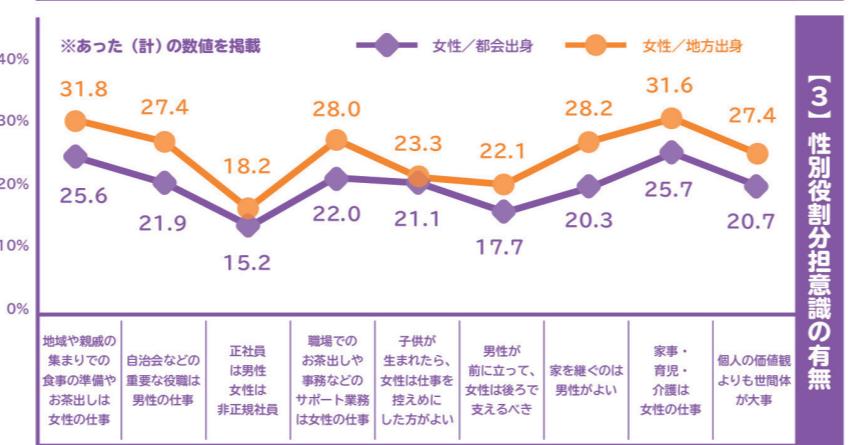
報告書の分析によると、女性は、東京・大阪・名古屋の三大都市圏で居住の満足度が高い傾向にあります。が、「仕事」「生活上の利便性」「多様な価値観の尊重」について、特に東京圏(東京都及び神奈川県・千葉県・埼玉県)居住者の満足度が高くなっています。また、東京圏に転出した女性は、出身地域に性別による役割分担意識があつたと感じている割合も特に高いことが確認されています。時代による意識の変

化により、全国的に性別役割分担意識は薄れていますが、東京圏に転出した女性は出身地域との違いを強く感じており、それが地元へ戻らない要因になつていると指摘されています。

一方で、東京圏以外の出身で現在東京圏に居住している若い世代の多くが、地元への愛着も持続続けており、東京圏に住み続けたい意欲が決して高いわけではないことも、調査結果から明らかになっています。

将来、地方に住みたいと考えている若い世代は、「男女とも「ゆとりのある暮らししができそう」「自然環境の豊かさ」などをその理由に挙げています。一方で不安に思うことについては、仕事や経済面、生活の利便性に加え、特に女性では「人間関係や地域コミュニティ」も高くなっています。

地域における女性や若者の活躍や、地方への人材還流を促進するためには、女性や若者の希望に即した魅力ある地域づくりが求められます。そして、本調査の結果は、地方により色濃く残る性別役割分担意識の見直しが、その際に重要なことを示唆しています。



【4】 東京圏への転出理由

| 理由 | 女性 (%) | 男性 (%) |
|-------------------|--------|--------|
| 希望する進学先が少なかった | 42.1 | 29.7 |
| やりたい仕事や就職先が少なかった | 27.4 | 24.9 |
| 地元から離れたかった | 26.8 | 15.0 |
| 親や周囲の人の干渉から逃れたかった | 10.7 | 3.8 |
| 学校や職場に通いづらかった | 10.4 | 8.5 |

☆☆ なでしこリーグに挑戦！

がんばれ!! レノファ山口FCレディース

の環境が良い方向に変わりました。
韓国でも、選手が声を上げること
で、給与面などのルールが変わり
ました。

© RENOFA YAMAGUCHI FC

伊藤 さくら
背番号: 7 / ポジション: MF
1998 年生まれ / 身長: 156cm / 利き足: 左
2025 年: 公式戦 23 試合中 20 試合出場
8 得点 10 アシスト



田中 陽子

背番号: 10 / ポジション: MF
1993 年生まれ / 身長: 156cm / 利き足: 右
2025 年: 公式戦 23 試合全試合出場
6 得点 10 アシスト



伊藤 「ここまで苦しい時期もありましたが、やっとこの2つの目標を叶えることが出来てよかったです。多くのご支援・ご声援が私たちの原動力となり、結果に結びつけることが出来たと思うので、チームに関わってくださった全ての方々に感謝したいです。カテゴリーが上がり、壁にぶつかることもあると思いますが、新たな歴史を築き、サッカーを通じて山口を盛り上げていくことが出来るよう頑張りたいと思います。

田中 ありがとうございます！私は加入して一年目でしたが、有難いことに歴史を塗り替えた瞬間に立ち会うことができました。レノファに来

伊藤選手は、2020年から所属され、昨シーズンは大切な試合でキヤップテンも担われました。これまで心に残った経験や、チームに対する思いなどを聞かせてください。

伊藤 小・中学生時代をこのクラブに育ててもらつたということもあり、お世話になつたクラブに対する想いは強く、恩返しがしたいというのがチームに加入したきっかけでした。そこから仲間がたくさん増え、今では明るくて笑顔の絶えないチームになり、大好きなこのチームでもっと色々な景色を見たいという想いがより一層強くなりました。また、活動する中で、

田中選手は海外でもプレーされていましたが、日本との文化の違いで印象的だったことはありますか。

田中 実際に海外に住むと、文化の違いに驚くことが多かったです。例えば私がスペインにいた頃は、女子サッカーの環境、最低賃金が労働組合の基準に満たない契約が多かつたため、選手協会に協力してもらつて選手自身が行動を起こし、実際に試合をストライキしたことまでありました。そして結果的に女子サッカー

でたくさんの方が応援、支援してくれています。私たちのサッカーが誰かださっていることを感じていたので、ともに掴んだ昇格は本当に嬉しいです。今年は新たな挑戦になりますが、最高の結果を掴めるようチーム一丸となつて頑張ります。

田中選手は、日本・スペイン・韓国のプロリーグでプレーされ、日本代表としてもプレーされました。今、地元山口のチームを選択された理由を教えてください。

田中 なでしこリーグ参入をはじめ大きな目標に向かって、地元山口のレノファレディースに、今までの経験で積み上げてきた技術や精神力をどこで貢献したいと思いました。

伊藤 いつもたくさんの応援ありがとうございます。サッカーを通じて地域のみなさんとふれあい、地元を盛り上げていけたらいいなと思っています。私たちのサッカーでみんなに笑顔や元気、感動を届けられるよう頑張ります。引き続き応援よろしくお願いします。



の環境が良い方向に変わりました。
韓国でも、選手が声を上げること
で、給与面などのルールが変わり
ました。

この度、チームの中心選手として活躍されている、山口市出身の伊藤さくら選手と田中陽子選手にお話をうかがいました。

レノファ山口FCレディースは、山口県をホームタウンとするサッカーチーム、レノファ山口FCのレディースチームです。昨シーズン、2部入替戦に勝利し、念願のなでしこリーグ参入を果たされました。

レノファ山口FCレディースは、山口県をホームタウンとするサッカーチーム、レノファ山口FCのレディースチームです。昨シーズン、2部入

田中 ありがとうございます！私は加入して一年目でしたが、有難いことに歴史を塗り替えた瞬間に立ち会うことができました。レノファに来

伊藤 小・中学生時代をこのクラブに育ててもらつたということもあり、お世話になつたクラブに対する想いは強く、恩返しがしたいというのがチームに加入したきっかけでした。そこから仲間がたくさん増え、今では明るくて笑顔の絶えないチームになり、大好きなこのチームでもっと色々な景色を見たいという想いがより一層強くなりました。また、活動する中で、

伊藤 いつもたくさんの応援ありがとうございます。サッカーを通じて地域のみなさんとふれあい、地元を盛り上げていけたらいいなと思っています。私たちのサッカーでみんなに笑顔や元気、感動を届けられるよう頑張ります。引き続き応援よろしくお願いします。

田中選手は海外でもプレーされていましたが、日本との文化の違いで印象的だったことはありますか。

田中 実際に海外に住むと、文化の違いに驚くことが多かったです。例

伊藤 いつもたくさんの応援ありがとうございます。サッカーを通じて地域のみなさんとふれあい、地元を盛り上げていけたらいいなと思っています。私たちのサッカーでみんなに笑顔や元気、感動を届けられるよう頑張ります。引き続き応援よろしくお願いします。

田中 実際に海外に住むと、文化の違いに驚くことが多かったです。例